|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ユースケース名 | | 利用者を削除する |
| 目的（ゴール） | | クラウド管理者が既存の利用者の情報を削除する |
| アクター | | クラウド管理者 |
| 開始条件（起動トリガー) | | クラウド管理者が利用者の削除を要求する |
| 事前条件 | | 既存の利用者のアカウントが存在していて、利用が可能な状態である |
| 事後条件 | | 利用者のアカウントが削除され、利用できない状態にする |
| 拡張点 | | 関連リソース（仮想マシン、ディスクなど）の削除確認 |
| 関連ユースケース | | 利用者を登録する  利用者情報を変更する  利用者のアクセス権を管理する |
| イベントフロ｜ | メインフロー | 1. ユーザー情報を入力 2. 削除を実行 |
| 代替フロー | 2-1. 管理者が削除確認画面でキャンセルを選択した場合 　→ 操作を中止し、削除は行われない |
| 例外フロー | 入力されたユーザーIDが存在しない場合 　→ エラーメッセージを表示し、削除処理を中止  ネットワークエラー等で削除処理が失敗した場合 　→ ログに記録し、再試行の案内を表示 |
| 備考 | |  |